

世界遺産・国宝 姫路城
冬の特別公開



わたりやぐら
特別公開
ぬの門・りの二渡櫓

姫路城の大天守のふもと、備前丸は、かつて姫路城を築城した池田輝政の御殿があったところです。その備前丸の南に位置する場所に上山里曲輪があります。山里曲輪は、戦闘を目的とせず、庭や茶室を設ける場所と言われています。今回は、上山里曲輪にある、普段は公開していない「ぬの門」と「りの二渡櫓」(一部)の内部をご覧いただけます。

令和3年(2021年)2月1日(月)~28日(日)

時間 / 9:00~16:30 (最終入城16:00 閉城17:00)

公開場所 / ぬの門、りの二渡櫓

観覧料300円 ※別途姫路城の入城料が必要です

同時公開

大名行列拝観
展示プレオープン

【場所】りの一渡櫓・子の櫓



ぬの門 初公開

三国堀のある曲輪から上山里曲輪へ入る関門である。3階建ての櫓門で、櫓部が2階建てになっている珍しい城門である。建物内部には階段がなく、上下階の行き来ができない。門部は全て鉄板張りで、門部の上に隠し石落としがある。櫓2階の出格子窓も石落としになっている。

りの二渡櫓 初公開

ぬの門の西に接する櫓がりの二渡櫓である。2階建ての建物で、1階の城外側は石垣が築かれ、室内は穴蔵になっている。酒井時代には火薬の原料となる苧殻を貯蔵していた時期がある。城内側の南室は開放され、天守大棟の鯰瓦を展示している。りの二渡櫓の南側にはりの一渡櫓・子の櫓があり、大名行列の衣装や調度品を特別展示しています。

